

安心というところである。

共同利用研究所ということもあって、内外の研究者との折衝ごとがたくさんある。このような事を手際よくすすめて行く能力も案外大事なものである。なにはともあれ、現在建設中の研究所であり、今後もしばしば新しい人材を求める必要が生じるであろうがすべて全国（場合

によっては外国）に向けて公募される。

研究所は豊川市と名古屋市に別れているが、名古屋市へ統合移転する計画である。大気圏環境部門ではライダーグループや化学分析グループが名古屋市の東山キャンパス内に移転しつつある。全体が移転するには数年はかかるだろう。



講演申込締切りせまる

IAMAP・IAHS '93 の講演申込締切りが、1993年1月末日にせまって来ました。さる10月には、registration form が綴じ込まれているセカンド・サーキュラーも発行されました。

今回の IAMAP コーナーは、講演申込締切りが近いということでもあり、セカンド・サーキュラー、registration form, IAMAP・IAHS '93 会場全景のカラー写真を巻頭に掲載しました。サーキュラーの内容や会議の日程など詳しいことは写真ページ裏側の説明をご覧ください。

また、セカンド・サーキュラーをまだ手にしておられない方は

〒100 東京都千代田区大手町1-7-2

サンケイコンベンション内

IAMAP '93 事務局

電話 (03) 3273-2084 FAX (03) 3279-6287

まで至急御請求くださるか、気象学会パソコン通信 (MSJ-BBS, 電話 (03) 3813-7844) の IMP0000 宛に電子メールにてお知らせください。折り返し郵送いたします。
(里村雄彦)

日本気象学会寄付者御芳名

1992年11月30日現在、下記の会員から寄付がありましたので、お礼を兼ねて報告申し上げます。

記

村上多喜雄